

Pin-Pon Quiz Master



PM-M3

Connect

製品型番：PM-M3

ピンポン クイズ マスター コネクト（親機）

取扱説明書

お買い上げいただいた皆さまへ

この度はお買い上げいただき有難うございます。安全に楽しくご使用いただくために、以下の点に留意しながら、ご使用ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

■誤った使用によって起こる危害や損害の程度を次のように説明しています。



危険

「死亡や重傷の恐れが大きい」内容です。



警告

「死亡や重傷の恐れがある」内容です。



注意

「軽傷や物的損害の恐れがある」内容です。

■お守りいただきたい内容を、次の図記号で区分して説明しています。



気を付けていただきたい内容です。



してはいけない内容です。



必ず実行していただきたい内容です。

危険

-  濡れた手でUSBケーブルや電池を抜き差ししないでください。
-  USB端子や電池端子を金属物で短絡させないでください。

警告

-  異常・故障時には直ちにUSBケーブル・電池を外してください。
-  使用中は発熱することがあります。布などで覆わないでください。
-  改造や分解を行わないでください。
-  可燃性・爆発性・引火性のガスのある場所で使用しないでください。
-  水をかけたり、湿気の多い場所で使用したりしないでください。
-  破損したケーブルや電池を使用しないでください。
-  新旧・異種電池を混ぜて使用しないでください。
-  火災報知機などの自動制御機器の近くでは、電源を切ってください。
-  病院内や医療用電気機器のある場所では、電源を切ってください。

注意

-  使用しないときは電源（USB・電池）を外してください。
-  ボタンの押下時など、過度の力を与えないようにしてください。
-  高温・低温（0～40℃を超える環境）では使用・保管しないでください。
-  USB使用時は5V/1A以上の安定した電源を使用してください。
-  子供が使用する際は、大人の目が届くところで使用してください。
-  音声出力端子はライン用です。ヘッドフォン等を繋がないでください。

同梱物 と ご使用前の準備

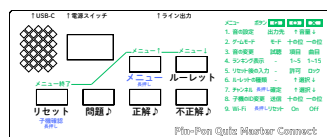
製品・同梱物

準備するもの

PM-M3
(親機)



製品本体



ヒントカード (サービス)

単三電池 4本 (アルカリを推奨)
または
USB-Cケーブルと電源 (5V/1A以上)

※ヒントカードは、製品に重ねて使用
するとわかりやすいかと思います。
サービス品であり保証の対象外です。

本製品はFDM式3Dプリンターにて生産しております。
そのため特有の積層痕や点々、溝が見られますが、
製品の仕様となりますことをご了承ください。

ご使用前の設定

■以下の手順で設定を行うことで、使用できる状態になります。

1. 親機とチャンネルを合わせる（出荷時は1ch）



(1) 親機の画面で、親機のチャンネルを確認する。

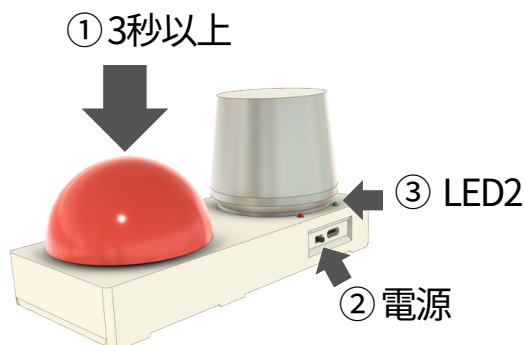
チャンネルを変える場合

【Aボタン長押し】 メニュー

【Aボタンを数回押す】 7.Channel

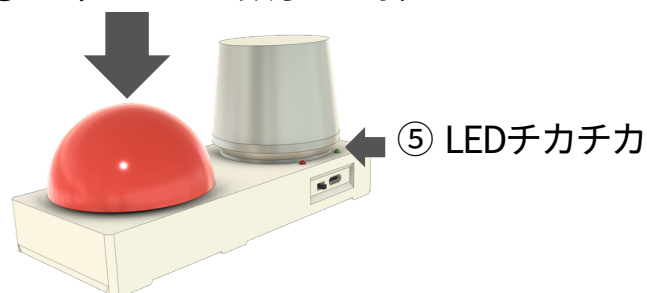
【O×ボタン】 設定したいチャンネルにする

【Qボタン長押し】 確定する



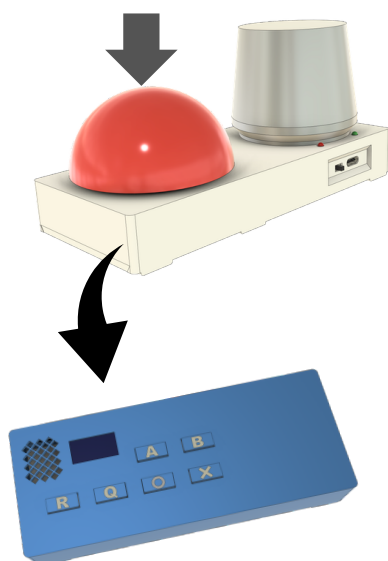
(2) 回答ボタンを押しながら子機の電源を入れ、押し続けて3秒待つ。
→LED2が光る。

④ チャンネルの数字だけ押す



(3) 設定するチャンネルの数字だけ、連続して回答ボタンを押す。
→1秒待つと、LED2がチャンネルの数字だけ光る。

2. 子機の番号(ID)を設定する



(1) 親機と設定する子機だけ電源を入れ、
(Qボタンを押したのち、) ※
子機の回答ボタンを押す。
→親機が反応する（子機のIDが表示される）

※リセット後の子機入力ロックがかかっている場合

(2) 親機のメニューから、番号（ID）を設定する。

【Aボタン長押し】 メニュー

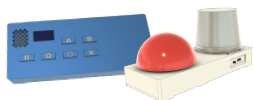
【Aボタンを数回押す】 8. ID Modify

【O×ボタン】 ID設定（11ページ参照）

【Qボタン】 ID送信 →子機ランプが数回点滅

ピンポンクイズマスター コネクト でできること

■早押しクイズの基本的な使用方法（設定により、異なる遊び方も可能）



親機・子機の電源を入れる。



親機【R】を押す。→すべてリセット、子機が待機状態



親機【Q】を押す。→出題音



子機が回答ボタンを押す。→

最初の子機のランプが点滅。

2番以降の子機は指定した順位までランプが点灯。

親機の画面に、ボタンを押した子機IDが表示される。

正解なら

親機【○】を押す。→ 正解音 → 次の問題へ。

不正解なら

親機【×】を押す。→ 不正解音 →

最初の子機のランプが消える。

2番目の子機のランプが点滅。

親機の画面の順位が繰り上がる。

不正解の場合の回答権の処理はいくつかのパターンから選べます。

■特長

Wi-FiでLANに接続し、スマートフォンやタブレット、パソコンのウェブブラウザで順位を表示させることができます(ウェブブラウザからは音声は出ません)。

ライン出力端子を備えています(3.5mmミニフォンジャック、モノラル音声)。

反応速度は1.2～1.4ms(ミリ秒)※。

※動作試験にて90%以上がこの範囲に入る。

1台の親機に、最大で120台の子機を接続し、無線通信で早押しクイズができます。ワイヤーがないため配線に苦労することがありません。

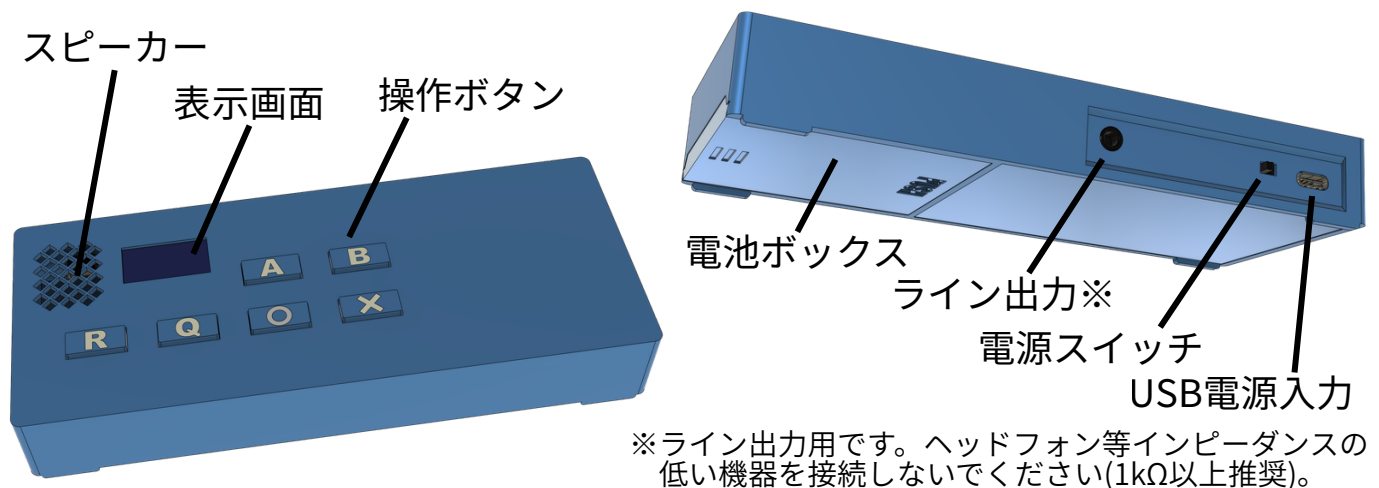
早かった人から順番に○人に次々回答権が移るモード、間違えた人はその問題はボタンが無効になるモードなど、複数のゲームのモードを備えています。

無線は13チャンネルから選択でき、同じ場所で複数のグループがクイズ大会を開くことが可能。また、周りのWi-Fi環境等に合わせて、混雑していないチャンネルに設定できます。

ボタン・出題・正解・不正解の音は2種類から選択できます。

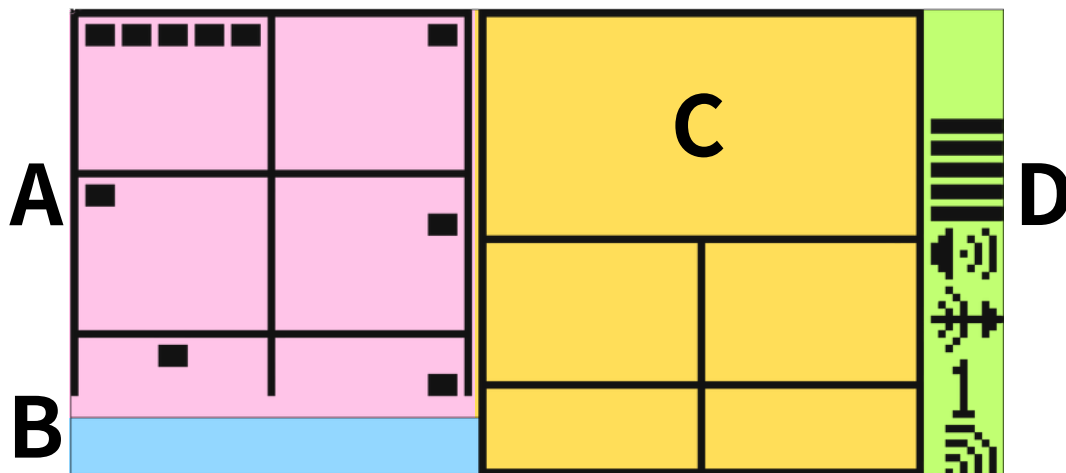
おまけ機能として、子機を使ってルーレットをすることができます。

親機の各部の名称



親機の画面とボタンの説明 通常（ゲーム中）

■通常の画面表示



A 接続されている子機のIDをマトリックスで表示しています。左上から右に1,2,3,...と増え、下に10,20,30,...と増えます。上の例だと、接続されているのは、1,2,3,4,5,10,51,70,103,120です。

B 接続されている子機の台数、1位とのタイム差など、メッセージを表示する部分です。

C 回答ボタンが早く押された順に子機のIDを表示します。回答者が誤答の場合は、繰り上げて順次表示します。

D 音量・音声出力先(スピーカー・音声出力)・子機との通信チャンネル・Wi-Fi(スクリーンキャスト)の状態を表示します。

■通常のボタンの動作



R

【リセットボタン】

全ての子機の電源を入れた後、または前回の問題が終わったら押します。親機の順位画面がリセットされ、子機のランプもすべて消えます。同時に、子機のスタンバイモード移行が15分延長されます。MenuのAfter ResetがInput Lockedの場合、子機の回答ボタンが一時的に無効になります。

長押しすると、すべての子機のランプが一定時間点灯し、接続を確認できます。

Q

【キューボタン】

出題の効果音が流れます。

MenuのAfter ResetがInput Lockedの場合、子機の回答ボタンが有効になり、回答を受け付け始めます。

O

【正解ボタン】

正解の効果音が流れます。

X

【不正解ボタン】

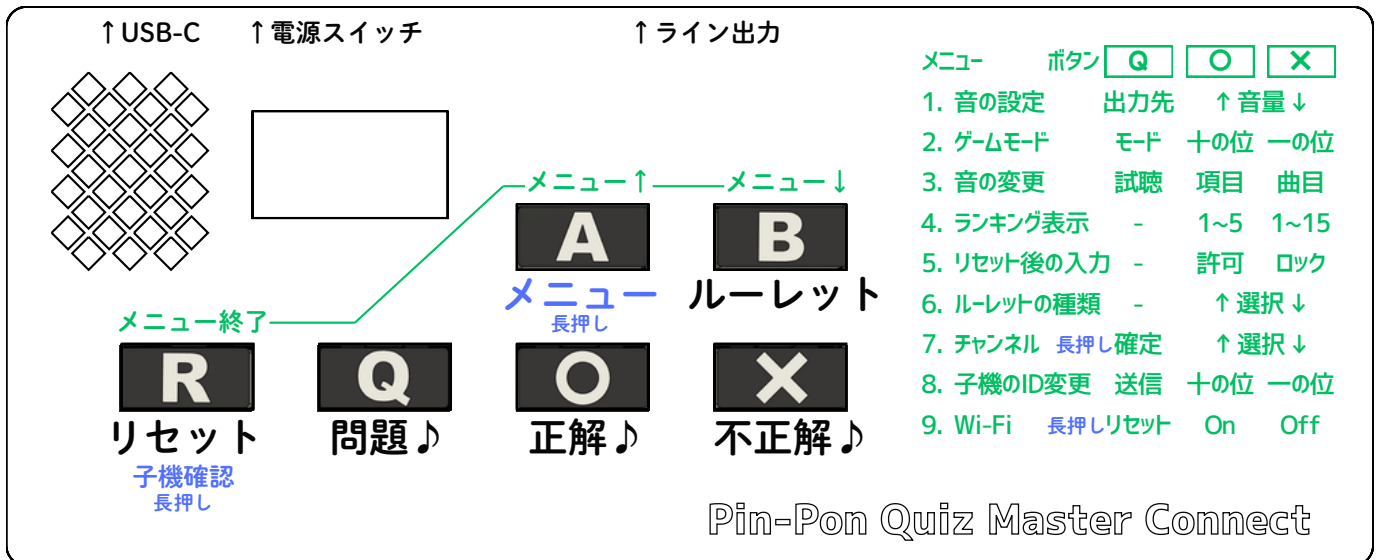
誤答の効果音が流れます。

MenuのGame ModeがFasterの場合、画面では回答権が順次繰り上がって表示され、子機は誤答者のランプが消え、次点の子機のランプが点滅し、その人に回答権が移ります。これが、誤答が続く限り、指定した人数分繰り返されます。

MenuのGame ModeがAlways AllまたはSkip Answeredの場合、画面の順位は毎回リセットされ、その瞬間から再び回答を受け付け始めます。

親機の画面とボタンの説明 Menu（設定）

- Aボタンを長押しすると、Menuに入り、いろいろな項目を設定できます。
その後、Aは昇順、Bは降順にMenuを巡ります。
Rボタンにより、いつでもMenuを抜けられます。



Menu項目	設定方法
1. Audio Config	Q ... 音声出力先を選びます O ... 音量を上げる X ... 音量を下げる
2. Game Mode	ゲームの回答権や誤答時の処理を設定します。 Q ... ゲームモード選択 Faster: 1 - x 最初のx人に回答権・ランプ点灯 Faster: 1 - x (Sound: 1only) 最初のx人に回答権・ランプ点灯 ボタン音は一位と回答待ちがないときだけ Always All 誤答の場合、また全員で早押し Skip Answered 誤答者は回答権を失う Fastest Only 最初の一人だけに回答権 O X ... Faster: の時に使用 回答権が何人までかを指定する (上記x) を指定 ($2 \leq x \leq 120$) O ... 10ずつ変更 X ... 1ずつ変更

Menu項目	設定方法
3. Sound (音が鳴ります)	効果音の種類を設定します。 Q ... 試聴 ○ ... 項目の選択 × ... 効果音の選択 Button ... 1:ピンポン 2:ティン Question ... 1:ザザザッ 2:ティロリロ Correct ... 1:ピンポンピンポン 2:お見事 Incorrect ... 1:ブブブー 2:はずれ
4. Rank Display	早かった子機のIDの表示件数を設定します。 ○ ... 1位から5位 × ... 1位から15位
5. After Reset	リセットボタン【R】を押したときの子機の入力制限を設定します。 これにより、出題前の子機の回答を制限できます。 制限した場合、キューボタン【Q】を押すことにより出題と同時に解除されます。 ○ ... Input Enabled 入力制限なし × ... Input Locked 入力制限あり
6. Roulette	ルーレットの設定をします。 ○・×ボタンを押すごとに、以下のように変わります。 Order ⇄ Random ⇄ Disabled (子機のID順) (ランダム) (無効)
7. Channel	親機⇄子機の通信チャンネルを1～13から選択します。 ○ ... チャンネルを大きく × ... チャンネルを小さく Q ... 長押しで確定 ※子機のチャンネルは、子機側で設定します。

Menu項目	設定方法
8. ID Modify	子機のIDを変更します。 【使用法】 1. 親機とIDを変える子機を同じチャンネルにする。 2. 他の子機の電源を切る。（誤送信防止） 3. 親機の画面にその子機があることを確認する。 4. 親機でAfterResetがLockedになっている場合は、Qボタンを押して回答待ち受け状態にする。 5. 子機の回答ボタンを押す。 6. 親機で通常通り受信出来たら、Menu→ID Modify 7. xxx to xxxと表示されるので、以下のように変更。 ○ ... IDを10ずつ変更 × ... IDを1ずつ変更 8. Qを押す。新しいIDが送信される。 9. 該当子機のランプが素早く数回点滅して消灯すれば変更完了。
9. Screen Cast	外部デバイスとのWi-Fi通信（スクリーンキャスト）を設定します。 ○ ... On × ... Off - Q ... 長押しでリセット ※お買い上げ時はOffになっています ※スクリーンキャストの詳細・方法は次ページを参照 【ご注意】 この機能はhttpで通信してデバイスのウェブブラウザに表示するものです。httpはhttpsに比べて安全性が低く、同一ネットワーク内に不特定の第三者がいるような状況(フリーWi-Fiなど)では使用しないでください。なお、通信の内容に参加者の氏名は含まれません。

これらの項目は、電源を切っても保持されます。

スクリーンキャストについて

- 本機は、Wi-Fiを備え、お手持ちのデバイスのウェブブラウザを、順位表示の画面として使用できます。



接続例

できることと制限事項

- ・ウェブブラウザ画面で、順位やスコアを表示。
- ・クイズの回答者の名前を表示可能。
- ・画面に表示する順位は、5位まで、9位まで、15位までの3段階。
- ・画面のカラーテーマは、ダーク・ライト・パステル・ビビッドの4種類。
- ・キーボード付きのデバイスでは本体一部のボタンや音量をキーで操作可能。
- ・本体の設定のいくつかをウェブブラウザから変更可能。
- ・Wi-Fiルーターがなくても表示可能（APモード）。
- ・お手持ちのWi-Fiルーターに接続して使用可能（STAモード）。

※ウェブブラウザからは音は出ません。

※APモードで同時閲覧できるデバイス数の目安は2台です。

（STAモードでは、接続するLANの環境等によります。）

※1つのLANに複数のピンポンクイズマスターコネクトを接続する際は、すべて異なるチャンネルにして接続してください。

※デバイスによっては、画面の下に表示がはみ出す、縮小表示を選んでも氏名が表示しきれない、などの場合があります。

※旧型のデバイスやウェブブラウザでは正しく表示されない場合があります。

スクリーンキャストの方法

■スクリーンキャストには、2つの方法があります。

1. 本体をアクセスポイント(Wi-Fiの親機)として使用
2. 既存のLANに本体をクライアント(Wi-Fiの子機)として参加させてから使用

1. 本体をアクセスポイントにして使用する (APモード)

1. 本体メニューの9. Screen Castで、○ボタンを押す。
→ [On (AP)] と表示される。
異なる表示の場合、Qボタンを長押し(リセット)する。
2. 本体画面のSSIDとPASS(パスワード)で、ピンポンクイズマスターのネットワーク(Wi-Fi)に、お持ちの端末(スマートフォンやPC)を接続する。
3. その端末のウェブブラウザで、本体画面のアドレスにアクセスする。
4. 機器の起動モードを選択する画面が表示されるので、「このまま直接つないで使う」を選択する。

2. 本体を既存のLANに 参加させてから使用する (STAモード)

1. 上記APモードの設定の1～3を行い、4で「家庭内Wi-Fi(LAN)に接続する」を選択する。
2. SSIDを選択してパスワードを入力し「接続してクイズ開始」を押す。
→本体がWi-Fiの切り替えを行い、LANに接続される。
(ここでピンポンクイズマスターのネットワークは遮断される。)
3. 設定に使用した端末のWi-Fiを戻す。(自動的に戻る場合もある)
4. LAN内のデバイスのウェブブラウザで、本体画面に表示されているアドレスにアクセスする。
(設定に使用したデバイスでは自動的に画面が更新される場合もある)

この設定は保存され、次回起動時も自動的に接続を試みます。
接続された場合、本体画面に表示されます。
STAモードのほうがより消費電力が少ないです。

スクリーンキャスト中のウェブブラウザ操作

- ウェブブラウザの画面では、**大会名の部分をダブルタップ・ダブルクリック**することで、設定等の画面が現れます。ここでは、各項目を説明します。

項目	詳細
画面表示設定	大会名、表示件数、タイムや操作ボタンの表示、画面のテーマカラーなどを設定します。
本体機能設定	本体の音やゲームモードなどを設定します。
ショートカットキー設定	ブラウザ画面上の5つのボタンと音量を操作するショートカットキーを設定します。
氏名リスト読込	氏名が子機ID順に縦に列挙されているテキストデータを読み込ませてください。
成績出力	氏名と得点のテキストデータを出力します。このデータは、氏名リスト読込に対応しています。
ブラウザ設定リセット	本体機能以外の設定、氏名、得点が初期状態に戻ります。

本体機能設定以外の項目は、ウェブブラウザ側に保存されます。
本体のホスト名やアドレスが変わった場合、新たに設定が必要です。

親機のパワーセーブ機能、音量の限界について

- 親機にはパワーセーブ機能が備わっており、一定時間入力や通信がないと、子機とのやり取りを停止します。この場合、親機のボタンを押すことで再接続されます。なお、子機からはこのパワーセーブを解除できません。
- 効果音の再生には電力を多く使用するため、電池が消耗すると大きな音量で再生できなくなります。（音が割れる、再起動するなどの症状が出ます。）
症状が出た場合は、手動で音量を下げたり、電池を交換したりしてください。
また、パソコンのUSBハブやモバイルバッテリー、小さなUSB電源でも症状が出る可能性があります。より強力なUSB電源を使用してください。

トラブルシューティング

症状	原因・対処方法
子機が反応しない	MenuのAfter ResetがInput Lockedの場合、Qボタンを押す → 効果音の後、回答ボタンの入力を受け付けるようになる MenuのGame ModeがSkip Answeredの場合、一度間違っていると、その子機はリセットボタンが押されるまで回答権がなく、反応しない 子機がスリープモードに入っている場合、最初の回答ボタン押下で復帰し、2度目の押下で反応するようになる 親機と子機でWi-Fiチャンネルをそろえる 親機と子機との距離を近づける 親機・子機ともチャンネルを変える 電池を新しいものに替える 電子レンジ・ブルートゥース機器・Wi-Fiルーター・スマート家電・IoT機器など、2.4GHz帯を使用するノイズ源が近くにあると、反応しない場合がある
親機の音が出ない	音量がゼロになっている → 音量を上げる 電池を交換するか、USBから電源をとる
親機の音が割れる	電源電圧が下がると、音割れする場合がある → 電池を交換する・USBから電源をとる・音量を下げる
親機のボタンが反応しない	Wi-FiがOFFになると、最初のボタンの押下で再接続が行われ(数秒)、2回目からの入力で反応する
親機が再起動する	電池を交換するか、USBから電源をとる USB電源を強力なものに替える
子機で回答ボタンを押していないのにランプが点滅点灯する	同じグループに同じIDを持つ子機が複数あると、片方の子機のボタン押下で反応する → 片方の子機のIDを変える
Wi-Fiの設定トラブル	Wi-Fiのパスワード入力を誤った・PQM-xxの電波が現れない →メニューの9. Screen Cast から ○ボタンでOnにして、Qボタン長押し(リセット)する

主な仕様

定格	待機時	Wi-Fi On	5V/220mA	6V/180mA
		Wi-Fi Off	5V/140mA	6V/130mA
	スピーカー出力時	5V/500mA以下 6V/500mA以下		
	パワーセーブ（子機回答ボタン受信OFF）時			
		Wi-Fi On	5V/140mA	6V/120mA
		Wi-Fi Off	5V/75mA	6V/65mA
スピーカー出力	1W			
ライン出力	3.5mmステレオミニフォンジャック(モノラル音声) 2.1 Vrms(typ) 推奨負荷 1 kΩ以上			
Wi-Fi規格	IEEE 802.11 b/g/n 2.4 GHz (2412～2484 MHz)			
使用音源	Audiostock Howling-Indicator OtoLogic Springin' Sound Stock 音作品創作工房ナッシュスタジオ (順不同)			

保証規定

ご購入より3か月間

通常使用での故障について、上記の期間、無料にて修理、交換いたします。下記連絡先にご一報ください。その際、購入を証明する領収書やスクリーンショットをご用意ください。なお、落下、水濡れ、電池の液漏れ、分解等は保証の対象外となります。

お困りの際は

■使用に際してお困りのことがあれば、以下の窓口にご相談ください。

合同会社 T Tech Advance

メール：info@t-tech-advance.com